

公民館報

町館信日円所
戸民常 15 刷所
須公 月部 昭榮
小中成 毎一 印
発行所 小中成 毎一 印
発行日 昭榮
印刷所 昭榮

公民館59年度方針

～より新しい運営を推進します～

今年の冬はまれにみる寒波が続きましたが、ようやく春めいてきたこの頃となりました。町民の皆様からは日頃公民館活動について一方ならざるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。明るく住みよい町づくりにめざして、中央公民館でも次のように新年度の運営方針及び事業計画を立てております。この実施にあたっては町民の方々の限りなきご援助をいただいております。ぜひ皆様のご協力をお願い致します。

今年度の冬はまれにみる寒波が続きましたが、ようやく春めいてきたこの頃となりました。町民の皆様からは日頃公民館活動について一方ならざるご協力をいただき厚く御礼申し上げます。明るく住みよい町づくりにめざして、中央公民館でも次のように新年度の運営方針及び事業計画を立てております。この実施にあたっては町民の方々の限りなきご援助をいただいております。ぜひ皆様のご協力をお願い致します。

- ① 行政及び学校教育との連携を密にする。
- ② 文化講演会
- ③ 合唱教室
- ④ 水黒画教室
- ⑤ 分館活動
- ⑥ 分館活動



公民館の入り口



加彩女人立像 城丸明男

公民館で洋画教室を開講して三年くらいたります。本年度からはクラブ組織に切り替えました。同好の方々の参加をお願いいたします。そのまごの興味で、教室でお話した内容の一部を記します。さて、絵を描く材料の選定で、油彩画と水彩画とが、日本画などと分類されるのですが、描画材料の持つ性質によって、それぞれの表現の長所・短所があることは、いうまでもありません。一つの材料で表現が万能というものはありえないのです。今回は水彩画の特長を考えてみます。日本における水彩画の歴史をたどって見ますと、主として十九世紀の前半に活躍した英国の画家達、ターナーとかコンスタブルなどの作風が、明治の初年、横浜の画報通信員ワグマンや工部

花と緑の日の制定より二年が経過し、植木盆栽まつりとともに定着してきました。植木盆栽まつりも今年も記念事業を計画しており、例年になく盛り上がりを見込んでいます。また、花と緑のイメーを高めるために、花の苗を無料で配布します。花と緑を愛する、やさしい心を、全町民の皆さんに育んでいただき、皆様の力で明るい町づくりを

五月四日は「花と緑の日」です

心げましょう。植木盆栽まつり日程 日時 五月四日(金)～五月六日(日) 会場 小須戸町本町四丁目 児童公園・植木盆栽まつり会場 苗木配布日時 五月四日(金)・五日(土) 午前十一時～午後一時半・午後一時半～三時 (無料苗木については数に限りがあります) でありましょう。前置きが長くなりましたが、絵の具を水で溶いて描きます。しばらくすると乾きます。続けて、また描き重ねてゆきます。水彩画は全く便利なのです。膠を煮るとか、テレビンの油の乾き待たせたり、日本画や油彩画の繁雑さに比較すれば、単純で簡単な描画材料なのです。それと安価に入手できることから、教育の場にも水彩画が導入されました。今日では、誰でも少年の日の思い出としてその表現の体験を持ってもらえるようになりました。水彩画の具は、顔料を画用紙に定着させるための媒剤としてアラビアゴム、そして乾燥を防止するためのグリセリンなどが混入してあります。前述した明治・大正の水彩画は透明画法が主流でありました。この描法は対象を前にしながら、うすい色から漸次、濃くしていく描法で、最終、絵の具を透明に塗り重ねて完成させます。うまく表現できれば透明感あふれる美しい作品となります。古来から文芸作品などに引用される「水彩画のようだ」という形容の所以であります。しかしこの方法で

す。淡白にすぎず、重厚感・現実感などに乏しく、大作はむづかしいようです。そこで考え出された描法がいわゆる不透明画法です。これは、絵の具にホワイトを混入して厚く塗り重ねます。油彩画のような表現が可能で、大作向きで力強い表現が得られます。しかし発色が鈍くなる欠点があります。小学生などこの描法に適した製品とされており、ある程度この表現技法が修得できたら、透明と不透明の二つの描法を併用することに気がつくと思

分館だより

四月二十日 運営審議会 午後七時十五分 四月十九日 水田老人クラブ 午後一時三十分より 健康教室
新保分館 厳寒多雪で今年の春はいつ訪れるかも知れぬ不安の中、三月二十二日新保分館では地域研修センターホールにて神社、鳥居のメ縄作りが熱心に行われました。時折り猛吹雪を見せる外の天候を心配しながら、壮年層の方々には氏子の皆さん、老人クラブOBも加わり、力をこめて作り上げたメ縄には今年度の農作業と各家庭での無病息災のお祈りがひしひしと感じられた会場でした。

小須戸町の芸術・文化

美術学校教授フオンタナージュ等によって伝えられたので、最も隆盛を極めたのが明治三十年代から四十年代の前半であるようです。明治のロマン主義・自然主義など、文学的風潮や、自然観のあり方などに適合した詩情を含む、みずみずしい表現の水彩画が広範な支持者を得ました。しかも文芸誌などが、挿絵・口絵として活用し、印刷物を媒体としながら、水彩画の地方化の役目を果たしたようです。大下藤次郎などによる水彩画専門の雑誌「みずゑ」の発刊が、全国的に水彩画を普及させる原動力となり、各地に水彩画の講習会が開かれたりしています。年配の方々なら、藤村の単編小説「水彩画家」とか、その周辺で活躍した三宅克己や丸山晩霞などの水彩作品を回想される

春の防犯運動

春期に多発する犯罪を防止して互いに平穏な日常生活を確保するため、四月二十一日から四月三十日まで県下一斉に防犯運動が実施されます。◇運動の重点 ①金融機関をねらう強盗事件の防止 ②侵入盗の防止 ③乗物盗の防止 この運動を盛り上げるため、広く防犯連絡所や

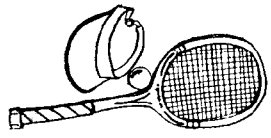
春の防犯運動

地域のかたがたの御協力をお願いいたします。この機会に自主防犯の訓練をしたり、自出かけの時節縮りして近所の方に一声かけるなど、防犯に努めましょう。また第三日曜日は「家庭防犯の日」です。家族みんなで自宅の防犯について話し合いと点検を行いましょ。



新保研修センターにて

催しものご案内



59年度教室、クラブ等

会員募集のお知らせ

町民初心者庭球大会開催
日時：五月十三日(日)
午前九時三十分受付

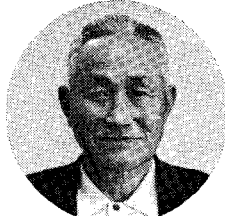
レコードコンサートのご案内
次により定例のレコードコンサートを行っておりますのでぜひご参加下さい。

初心者社交ダンス教室のご案内
社交ダンスを習いたい方、ぜひこの機会においで下さい。

柔剣道振興会だより
柔剣道大会
3・20 於 白根市

立石寺
禪家の岩に木もれの薄日さしみたまのごとくゆれ動きをり

短歌
童らの帰らる縁からびたる土筆の胞子青く陽に浮く



高齢化問題対策 懇談会に出席して

三浦保

二月七日新潟市自治会館にて県民欧主権による高齢化問題対策懇談会が開催され、意見発表の求めに応じ出席した。懇談会の趣旨

青年通信
一月に「あおぞら」が発足して三ヶ月過ぎました。なほ、ミニFM局に関する調査を実施しております。

三月旬会報
春隣り棚付け始む大工趣味
手をつけば量にあり春日かな

閑根正樹
中学校俳句クラブ顧問
毎年のことではあるが、雪解けともなると、心がぞくぞくする。

「古典を読む会」発足



今年から新しく開設した成人講座の一つとして中央公民館二階学習室で発足の「古典を読む会」が去る四月四日より春の講義に開始した。